

2021 年度
専門学校サンテクノカレッジ
学校関係者評価 報告書

評価対象期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

2022 年 10 月
学校関係者評価委員会

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	1
	1. 学校関係者評価の目的	
	2. 学校関係者評価委員名簿	
	3. 学校関係者評価委員会の実施状況	
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告	2
	1. 教育理念・目的・育成人材像	2
	2. 学校運営	2
	3. 教育活動	3
	4. 学修成果	3
	5. 学生支援	4
	6. 教育環境	5
	7. 学生の受入れ募集	5
	8. 財 務	6
	9. 法令等の遵守	6
	10. 社会貢献・地域貢献	7

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

専門学校サンテクノカレッジの学校関係者評価の目的は、以下の通りである。

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②本校の専門分野の関係団体、専門分野の関係業界、地元自治体、卒業生など、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員名簿

区 分	氏 名	所 属 等
関係団体	※廣瀬 不二夫	一般社団法人 山梨県情報通信業協会
関係業界	石原 佳典	株式会社ジインズ システムソリューション部 部長
	渡邊 哲也	株式会社エスピーシー 監査役
地元自治体	丸山 英資	甲斐市 総合戦略部長
卒業生	井上 満邦	サンテクノカレッジ同窓会 会長

※ 委員長

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 第1回委員会

- ・書面による自己評価報告書の内容確認。

(2) 第2回委員会

- ・書面による学校関係者評価報告書の内容確認および承認。

II 学校関係者評価委員会 評価結果報告

1. 教育理念・目的・育成人材像（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 学生に求める人材像を明記し、それに必要な資格取得で実績を上げている。
- 国や産業界が推進している DX についても、ビッグデータや AI 等を先進的に取り入れている。
- 各学科が目指す職種を明確にし、社会や地域産業界のニーズを捉え、学校の将来構想に反映させている姿勢。
- 社会の発展に寄与する育成人材像が教育理念や目的に基づいた上で定められており、Webサイト等で広く周知されている。
- 社会ニーズ等を踏まえた学校の将来構想への反映と随時の見直しが行われている。
- 学校の理念や将来構想などについて、関係者各位まで情報が公開されている。
- 地元企業のハル研究所のゲームクリエイターからの指導助言は昨年度の改善点であり、これが解決され実行された。

【改善すべき点】

- 現在、国ではデジタル田園都市構想などデジタル化の推進が行われている。ついでに、理念において「産学共同」とあるが、「産学共同に加え、官との連携」などを検討してはいかがでしょうか。

2. 学校運営（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 各組織やテーマに応じて会議や検討会、委員会を設けて会議を実施している。また教員向けの諸規程も定めている。さらに、活動内容をホームページで公開しており、学校運営の透明性を高めている。
- 業界の動向、企業や社会の求めるニーズなどを踏まえ、かつ学校の教育目的に沿った運営方針を決め、毎年、それに沿った事業計画書を策定し、計画通り進めて行く姿勢。
- 教務関係の ID 一元管理システムが導入され、業務の効率化が進んだ点。
- 業務効率化のために各種情報システムが構築・運営されている上に、新規のシステム導入も行い、さらなる効率化を進めている。
- 学校施設及び設備の更新計画は、中期的に策定されていることから、財政計画的にも適切に管理されていると判断できる。

【改善すべき点】

- 新型コロナウイルスの影響で利用度が上がったテレビ会議システムを、効率性（時間と

地理的条件)を考慮して積極的な活用を検討してはどうでしょうか。

- 昨年度から実施を検討している学校のコンプライアンス体制に関わる研修について進捗がないように思われるため、まずは、できるところから進めて行って欲しい。
- 評価年度においても、コロナ禍により、会議等が開催されず書面による周知、報告及び決議があると思われるが、開催されていないのであれば報告書の表現を変更したほうが良い。
- 項目 2-6 の評価 3 に対して、対策を明確にした方が良いと感じます。「業界や地域社会等に対する学校のコンプライアンス体制に関わる研修なども行っていく」とあるが、学校のコンプライアンスの規程がすでに定められているのか、研修を行えば達成されるのかなど、今後の対応が不明確に感じます。

3. 教育活動 (評価結果 / 適切: 5 名、不適切: 0 名)

ー委員コメントー

【評価できる点】

- コンピュータ技術だけでなく、一般的な業務知識も組み込まれていて、より実践的な教育となっている。
- 教員の研修を支援する補助制度や職員の能力開発のための研修を取り入れ実践している。
- 常に新しい知識や技術を授業に取り入れ、学生が実践的な仕事に対応できるように工夫して授業を行っている点。
- 専任教員を新規採用し、継続性を考慮した教員マネジメントが適切に実施されている。
- 前年度の課題に対応して、2021 年度は職員の外部研修受講が実施され、PDCA が実践されている。
- このコロナ禍における教育活動において、オンライン授業など手法を変えて感染対策に留意した授業の展開は、資格取得の実績からも評価は高い。
- デジタル化の進展に対し、本校は的確な行動により方針を決定し、カリキュラムの見直しや新たな意見をカリキュラムに反映して対応している。

【改善すべき点】

- ICT 業界では特に必要性が言われているコミュニケーション (人間関係) やプレゼンテーション技法について、実践しているとは思いが言及がない。
- 教職員の能力開発のための施策や支援制度を引き続き充実させる必要がある。
- 授業評価の体制は、これまでと同様の評価基準であるので、コロナ禍によるオンライン授業など新たな取り組みについて評価がされていない。
- 評価 3 の項目が散見されるが、いずれも明確な改善点が見えてこない。努力目標を具体例を挙げて記載していただけると、次のステップに進めるのではないのでしょうか。

4. 学修成果 (評価結果 / 適切: 5 名、不適切: 0 名)

－委員コメント－

【評価できる点】

- I P Aが実施する資格試験で合格者が大幅に増加しており、本校の客観的な評価の向上となっている。
- 退学者を減少させるために、教員の各層で保護者も巻き込んでフォローしている。
- 常に 95%以上の就職内定率を維持している点。
- 校内で多くの個別企業説明会を実施し、学生の就職活動を応援する姿勢。
- コロナ禍の中で個別指導を実施し、過去最多の基本情報技術者試験合格者を出せた点。
- 就職内定率が高い水準で維持されている。
- 退学率が前年比で低下しており、低減活動の成果がでている。
- 今年度はコロナ対策による改善が図られ、就職率向上に向けた様々の対策は評価できる。
- このコロナ禍において、全国的に不登校などが増加する中で、本校は一人ひとりへの適切な指導により、前年度より退学率が減少されていることは評価できる。

【改善すべき点】

- 就職内定率は、一概にコロナ禍による低迷とは判断できず、向上に向けた取り組みとして、他校の状況や企業の状態などの分析を行うことも必要だと思う。
- 社会人向けの研修課程の制度を知らなかった。国のデジタル化の推進により企業や官公庁において専門職の配置やノウハウの取得が急務で行われていることから、ホームページやパンフレットだけの掲載でなく、企業や官公庁に直接のアピールが必要だと思う。

5. 学生支援（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 教職員を中心に進路や生活に対する相談を実施している。また、経済的な支援や健康管理、サークル活動への支援も行っている。
- クラス担任を含む就職指導委員会が中心になり、学生一人ひとりの就職活動の状況を共有し、支援する体制ができている点。
- 外部からキャリアコンサルタントを招き、学生キャリアプランに関するセミナーを開催しており、進路・就職に関する支援体制を充実させている。
- 高校連携によるインターンシップの積極的な取り組みは評価できる。今後は、竜王駅が最寄りの駅であることから、中央線沿線の高校からの受け入れなどの工夫を検討願います。

【改善すべき点】

- 専任カウンセラーの配置は経費的にも大変だが、メンタルヘルスクリニックとの契約も検討してみてはどうか。
- 経済状況が悪化しているため、経済面などで精神的な悩みをもつ学生が増加する可能性

がある。学生相談に関する体制は、今後整備していく必要があるのではないかと思う。

- 同窓会の未開催により卒業生との意見交換ができない点の改善策としては、Web 同窓会など本校の強みを活かした卒業生支援を実施すべきである。

6. 教育環境（評価結果／適切：4名、不適切：1名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- キャンパス内の設備の改善や、コンピュータ環境の改善にも積極的に取り組んでいる。
- コロナ禍にあっても、可能な範囲でインターンシップ等Face-To-Faceの学習に取り組んでいる。
- 教育上の必要性に十分対応できる施設及び設備だけでなく、校内のトイレや駐車場の改修等、計画的な環境整備ができています。
- キャンパス内のトイレの全面改修や構内駐車場の区画改修工事が実施され、施設の更新・維持が適切に行われている。
- 項目 6-2 は、社会的情勢によって達成されなかったものと感じられるので、新型コロナウイルス感染拡大が収まり社会が落ち着けば達成されると思われる。

【改善すべき点】

- 学生からのインターネット接続は学習意欲の点から重要だが、セキュリティインシデントが急増しているため、ネットワークセキュリティを学生自身で点検することにより、セキュリティに関するスキルアップにつなげられると思う。
- コロナ禍のため、やむを得ないが、2年連続で教職員を対象とした消火器やAEDの使用実施訓練が行われていない。工夫をして訓練の再開が必要だと思われる。
- 項目 6-1 の施設等の整備は、トップクラスの施設整備や環境が整っているなど、具体的な内容を表記願いたい。
- 新型コロナ感染症問題は、2020年度から様々な影響を与えた一方、他校では様々な対策が講じられてきている。教育体制については、昨年度に引き続きコロナ禍により校外実習などを未実施とするのではなく、コロナ禍に立ち向かいできることを実施して学生の思い出作りや学校の高評価を得るよう努めていただきたい。
- 防災体制の整備は必須であり、コロナ禍を理由に未実施は正論ではない。防災対策は日頃からの訓練や知識の備えが必要であり、コロナ禍であろうが工夫をして実施すべきであり再評価するべきではないか。

7. 学生の受入れ募集（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 各種媒体（SNS、進学情報誌）を使って昨年以上の成果を出している。また、コロナ禍にあっても可能な限りFace-To-Faceでの活動を実践している。

- コロナ禍の中で企業や保護者の招待はできなかったが、例年通り卒業研究発表会を開催し卒業生に発表の場を提供できた点。
- 昨年度に引き続き第2回デザイン展を開催し、学生の作品が展示され、多くの来場者を得たことは学校の知名度向上に寄与している。
- 学生募集については、様々の手法において適切に行われている。
- 新型コロナウイルス感染拡大という困難な世の中にあっても、この内容は十分に評価できる。

【改善すべき点】

- 投資効果の問題はあるが、マスメディアを使った学校紹介や募集も検討したらどうか。
- 学生募集活動において、新型コロナウイルスの影響も含め、今後はオンライン（Web）によるイベントや説明会が更に増えていくと考えられる。これまでの普通のことを改め、SNSも含めたオンライン発信に活動を徐々にシフトしていく必要があると思う。例えば関係企業や保護者の招待もWeb参加を希望する方には、Webで参加できるような仕組みがあれば、より良いのではないかと思う。
- 社会人向けの研修などの充実を図るため、企業や官公庁への活動も実施ができれば良いです。

8. 財務（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 構内設備の大規模な工事やシステム導入、中長期的な設備投資や各種積立を行う中で、昨年以上の内部留保を確保している。
- 長年にわたり借り入れをすることなく、健全な学校運営ができています。
- 長年健全な経営が継続されています。
- 財務情報の公開もWebサイトで行われている。
- 開校から施設の長寿命化が図られていると推察する中で、黒字かつ借り入れなくしての学校運営は高評価である。
- 今後も毎年達成されるべきものであるため、これからも努力をしていっていただきたい。

【改善すべき点】

- 必要である機器及びネットワーク環境などについては、優先を図り整備が行えるよう中長期計画を構築する中で、引き続き財政基盤を強化する運営を継続してほしい。
- 項目8-2の表記に、収入・支出の概要を記載すると、より信ぴょう性が高まると思う。

9. 法令等の遵守（評価結果／適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 個人情報規程は運用している。また、ネットワークは外部と遮断してセキュリティを確保している。
- 問題点の改善について、年度ごとに重点項目を決めて改善施策を着実に実施する点。
- 個人情報を取り扱う専用パソコンをネットワーク接続しない対策を実施し、管理が徹底されている。
- 項目 9-3 では評価 3 としているが、学校側の努力は確実に見えるので、これからも努力を続けていただきたい。

【改善すべき点】

- 個人情報の規程の順守状況を把握するために内部監査の実施を検討したかどうか。
- 項目 2-6 において、コンプライアンスの体制整備の評価があるが、体制の整備を行うとともに本評価基準の項目でも表記の検討をお願いしたい。

10. 社会貢献・地域貢献（評価結果 / 適切：5名・不適切：0名）

—委員コメント—

【評価できる点】

- コロナ禍にあって、小学校の出前授業の実施、警察への動画提供、学校設備の利用など地域連携活動を継続的に実施している。
- 小学校プログラミング出前授業、災害時の緊急避難場所としての施設利用等、社会貢献・地域貢献を積極的に行っている点。
- コロナ禍が続く中で、継続的に地域貢献活動を行い、社会に貢献している。
- 社会・地域貢献は積極的に行われている。コロナ禍により先方の事情による事業の中止もあるが、本校の強みを活かしたリモートによる研修会の実施など、本校から生活スタイル改善の発信をしましょう。

【改善すべき点】

- 項目 10-2 について、ボランティア活動を単位として認めないとしているため、他の方法を模索しなければならないと思う。